

公益社団法人大日本農会 2019 年度事業報告

2019年度は、平成30年度第4回理事会で承認され、第102回総会に報告した事業計画及び収支予算に基づき、農事功績者の表彰、講演会・セミナーの開催、「平成農業技術史」の刊行や「大豆単収の向上に関する研究会」の開催等農業及び農村に関する調査研究、奨学金の貸与、会誌「農業」の刊行による情報普及等の事業を実施した。

1 農事功績者表彰事業

(1) 令和元年度(第103回)農事功績者表彰

1) 推薦

令和元年6月1日、都道府県知事、(一社)全国農業改良普及支援協会会長ほか関係団体の長、国内及び北米の各支会長に対して表彰候補者の推薦を依頼した。

これらに対して、都道府県知事から農事功労候補者55名(紫白綬有功章5名、緑白綬有功章50名)、(一社)全国農業改良普及支援協会会長から農業改良普及功労候補者4名(緑白綬有功章)、(公社)農林水産・食品産業技術振興協会理事長から農業技術開発功労候補者1名(緑白綬有功章)、1グループ(名誉賞状)、国外の部として、北米南加支会長から農事功労候補者2名(緑白綬有功章)のほか本会功労候補者等として本会会長から6名(紫白綬有功章1名、紅白綬有功章5名)、合計69名の推薦があった。

2) 選考経過

① 令和元年9月17日、農事功績表彰者審査委員会を開催し、推薦のあった69名(紫白綬有功章6名、緑白綬有功章58名(うち名誉賞状1)、紅白綬有功章5名)のうち67名を令和元年度農事功績表彰受章候補者として内定した。

② 令和元年10月9日、第3回理事会を開催し、農事功績表彰者審査委員会の審査結果を報告し、審査委員会で内定した67名に加え、本会から推薦した紫紅綬名誉章1名を農事功績表彰受章者として決定した。

③ 令和元年11月1日、吉田会長が総裁秋篠宮邸に赴き、受章者決定までの経過、受章者及び受章理由等について、総裁秋篠宮皇嗣殿下にご高覧いただいた。

3) 表彰式の挙行

令和元年11月21日11時から、三会堂ビル石垣記念ホールにおいて、総裁秋篠宮皇嗣殿下ご来臨の下、江藤拓農林水産大臣はじめ多数の来賓のご臨席をいただき、令和元年度(第103回)農事功績者表彰式を挙行し、上記68名に対して表彰状及び賞章が親授された。

表彰式終了後、記念写真の撮影を行い、引き続き、農林水産省天羽政策統括官はじめ来賓、受章者ほか関係者による祝賀パーティーを開催した。祝賀パーティーにおいて、総裁秋篠宮皇嗣殿下におかれては、受章者と親しくご歓談なされた。

(2) 総裁秋篠宮皇嗣殿下の農事功績表彰農家のご訪問

本会総裁秋篠宮皇嗣殿下におかれては、10月2日、群馬県下を訪問され、平成30年度に緑白綬有功章を受章された富岡市の大竹文明氏と平成28年度に緑白綬有功章を受章された前橋市の鈴木明巳氏の農業経営状況をご視察になられた。

また、この機会を利用して近隣在住の緑白綬有功章受章者と懇談されるとともに、世界遺産富岡製糸場をご視察になられた。

(3) 総裁秋篠宮皇嗣殿下の被災農事功績表彰農家のご訪問

本会総裁秋篠宮皇嗣殿下におかれては、1月28日、昨年秋の台風19号により被災した福島県伊達市の宍戸里司氏・初子氏（平成27年受章農家）を妃殿下とともにお見舞いに訪問された。

2 講演会・セミナー事業

(1) 中央農事講演会の開催

(一財)農林水産奨励会との共催による中央農事講演会を次のとおり開催した。

1) 春期

開催日：令和元年6月4日

演 題：農業が本当にスマートになるためには
～生産現場・ICT サイドから見た現状と課題～

講 師：小池 聡 氏（ベジタリア株式会社 代表取締役社長）

出席者：約100名

結果の公表：会誌「農業」 令和元年10月号

2) 秋期

開催日：令和元年10月23日

演 題：地域農業の再生と放送の役割

講 師：合瀬 宏毅 氏（農政ジャーナリスト、日本放送協会解説主幹、
本会理事）

出席者：約100名

結果の公表：会誌「農業」 令和2年3月号

(2) 農業懇話会の開催

(一財)農林水産奨励会との共催による農業懇話会を次のとおり開催した。

1) 第1回農業懇話会

話 題：「むらおさめ」の必要性を問う
～人口減少社会における最末端集落への向き合い方～

開催日：令和元年5月8日

講 師：作野 広和 氏（国立大学法人島根大学 教育学部教授）

結果の公表：会誌「農業」 令和元年8月号

2) 第2回農業懇話会

話 題：平成30年度食料・農業・農村白書の概要

開催日：令和元年6月28日

講 師：伊佐 寛 氏（農林水産省大臣官房広報評価課情報分析室長）

結果の公表：会誌「農業」 令和元年10月号

3) 第3回農業懇話会

話 題：HACCPの制度化と原材料管理について

開催日：令和元年7月18日

講 師：宮本 浩行 氏（ハウス食品グループ本社株式会社品質保証統括部
品質保証推進一課長）

結果の公表：会誌「農業」 令和元年11月号

4) 第4回農業懇話会

話 題：花の消費・流通・生産の変遷と令和新時代への対応

開催日：令和元年11月6日

講 師：宇田 明 氏（宇田花づくり研究所 代表）

結果の公表：会誌「農業」 令和2年4月号

5) 第5回農業懇話会

話 題：古くて新しい肥料について

開催日：令和2年2月12日

講 師：小林 新 氏

（全国農業協同組合連合会（JA全農）耕種資材部技術対策課長）

結果の公表：会誌「農業」 令和2年5月号（予定）

6) 第6回農業懇話会

話 題：地域社会の機能と再生：理論と実践

開催日：令和2年3月10日

講 師：福与 徳文 氏

（茨城大学農学部地域総合農学科（地域計画学）教授）

結果の公表：会誌「農業」 令和2年6月号（予定）

(3) 地域セミナーの開催

1) 北海道支会

平成31年4月24日、北海道札幌市において、北海道支会との共催による地域セミナー（北海道）を次のとおり開催した。

① 講 演

演 題：「生命（いのち）を育てる農業」

講 師：有村 利治 氏（（公社）北海道農業改良普及協会）

② 意見交換

③ 参集者：農業者、農業団体、北海道関係者等

本会 小栗 邦夫 副会長

2) 山形支会

令和元年8月22日、山形県酒田市において、山形支会との共催による地域セミナー（夏季研修会）を次のとおり開催した。

① 現地視察

② 講演

演題：「変わる農業・変わらぬ農業」一次の世代に伝えることー

講師：生源寺 眞一 氏（福島大学食農学類長、本会理事）

③ 意見交換

④ 参集者：農業者、農業団体、山形県関係者等

本会 吉田 岳志 会長

結果の公表：会誌「農業」 令和2年1月号

3) 令和2年1月30日、栃木県宇都宮市において、「農業の発展の可能性」をテーマとして栃木支会及び栃木県農業者懇談会との共催による地域セミナーを次のとおり開催した。

① 基調講演

演題：「ビジネスとしての農業」

講師：忠 聡 氏

（新潟県村上市副市長、前神林カントリー農園代表取締役）

② パネルディスカッション

テーマ：「農業の発展の可能性」

コーディネーター：小泉 浩郎 氏

（大日本農会農芸委員、山崎農業研究所顧問）

パネラー：忠 聡 氏（前出）

平出 孝司 氏（有限会社エフ・エフ・ヒライデ取締役会長）

丸山 優子 氏（なすとらん倶楽部運営組合長）

③ 参集者：農業者、農業団体、栃木県及び栃木県市町関係者等

本会 小栗 邦夫 副会長

④ 会誌への掲載：令和2年6月号(予定)

3 調査研究事業

(1) 平成農業技術史の取りまとめ刊行

研究会の内容を取りまとめ、9月10日、「平成農業技術史」（（公社）大日本農会編）を刊行し、関係各機関に広く配布した上で農文協を通じ販売を行っている。

12月9日には出版報告会を開催した。

(2) 大豆単収の向上に関する研究会

大豆は、我が国の食料自給率向上を図る上で重要な作物の一つであり、水稻からの転作作物として水田の有効利用を進める上でも不可欠な作物である。

しかしながら、その生産をみると、近年、栽培面積や単収の年次変動が大きく、特に単収は気象災害等により平成12年産をピークにその伸びが停滞している。

また、地域別にも単収の比較的高い産地の入れ替わりが毎年生じており、総じて低位安定化する傾向が強まっている。

そこで、大豆単収向上を図るための方策について分析・検討が行われているところであるが、本会としても単収向上の辿り着く先を模索するため、学識経験者の助力を得つつ、最近の生産実態、試験研究における低単収要因の解析、主要産地等における単収向上の取組等について調査・総括する新たな研究会を開催する。

5月24日 第1回研究会 結果の公表：会誌「農業」令和元年9月号
7月5日 第2回研究会 結果の公表：会誌「農業」令和2年1・2月号
8月26日 第3回研究会 結果の公表：会誌「農業」令和2年4月号
3月30日 第4回研究会 結果の公表：会誌「農業」掲載（予定）

研究会委員等（敬称略・五十音順）

座長：國分 牧衛（東北大学名誉教授、（公財）日本豆類協会理事）

委員：合瀬 宏毅（農政ジャーナリスト、日本放送協会解説主幹、本会理事）

佐々木昭博（東京農業大学参与、本会農芸委員）

吉永 悟志（（国研）農研機構中央農業研究センター領域長）

オブザーバー：

八木 宏典（日本農業研究所客員研究員、本会理事・農芸委員長）

大西麻紀子（農林水産省政策統括官付穀物課課長補佐（豆類班））

（注）検討テーマに応じて、話題提供者を随時招聘

（3）農事功績者を囲む部門別座談会

平成30年度緑白綬有功章受章農家の経営の発展経過等を話題として、受章者、技術・経営・流通・行政等の専門家及び現地指導者による座談会を次のとおり開催した。

1) 農産部門

期 日：平成31年4月9日

場 所：本会会議室

出席者：（敬称略・順不同）

（受章農家）

倉成 直江（福岡県北九州市）

倉成 保彦

（現地指導者）

河野 悦子（福岡県北九州普及指導センター地域係）

（学識経験者）

大杉 立（座長・東京農業大学客員教授、本会理事・農芸委員）

西川 孝一（（公財）日本特産農作物種苗協会理事長、本会農芸委員）

佐々木昭博（東京農業大学参与・客員教授、本会農芸委員）

八巻 正（元農研機構理事）

堺田 輝也（農林水産省政策統括官付穀物課長）

（本会）吉田会長、小栗副会長ほか

結果の公表：会誌「農業」令和元年7月号

2) 複合部門

期 日：令和元年5月15日

場 所：本会会議室

出席者：（敬称略・順不同）

（受章農家）

北見 信幸（神奈川県横浜市）

北見 満智子

（現地指導者）

小菅 知之（神奈川県環境農政局農政部畜産課調整グループ技幹）

（学識経験者）

小泉 浩郎（座長・山崎農業研究所顧問、本会農芸委員）

横内 圀生（元農研機構理事兼畜産草地研究所長、本会農芸委員）

安倍 澄子（日本農村生活学会会長、前日本女子大学客員教授）

伏見 啓二（農林水産省生産局畜産部畜産振興課長）

（本会）吉田会長、小栗副会長ほか

結果の公表：会誌「農業」 令和元年9月号

3) 花き部門

期 日：令和元年6月25日

場 所：本会会議室

出席者：（敬称略・順不同）

（受章農家）

國枝 武夫（滋賀県守山市）

（現地指導者）

野坂 隆太（滋賀県大津・南部農業農村振興事務所農産普及課普及指導第二係主任技師）

（学識経験者）

今西 英雄（座長・大阪府立大学名誉教授、本会農芸委員）

腰岡 政二（日本大学生物資源科学部教授）

長岡 求（(株) フラワーオークションジャパン取締役）

野口 武人（農林水産省生産局農産部園芸作物課花き産業・施設園芸振興室長）

（本会）吉田会長、小栗副会長ほか

結果の公表：会誌「農業」 令和元年11月号

4) 畜産部門

期 日：令和元年7月23日

場 所：本会会議室

出席者：（敬称略・順不同）

（受章農家）

青木 善明（静岡県富士宮市）

（現地指導者）

鈴木 智久（静岡県富士農林事務所企画経営課長）

(学識経験者)

林 良博 (座長・(独)国立科学博物館館長、本会理事・農芸委員)

武政 正明 (元(独)農研機構理事・畜産草地研究所長)

木下 良智 ((一社)食肉科学技術研究所理事長、本会監事)

伏見 啓二 (農林水産省生産局畜産部畜産企画課長)

(本会) 吉田会長、松尾事務局長ほか

結果の公表：会誌「農業」 令和元年12月号

5) 野菜部門

期 日：令和元年8月29日

場 所：本会会議室

出席者：(敬称略・順不同)

(受章農家)

小寺 正明 (東京都清瀬市)

(現地指導者)

中野 優輝 (東京都農業振興事務所中央農業改良普及センター普及指導員)

(学識経験者)

伊東 正 (座長・(公財)園芸植物育種研究所理事長、本会農芸委員)

望月 龍也 (東京都農林総合研究センター所長、本会農芸委員)

岡田 亨 (東京シティ青果(株)常務取締役)

佐藤 紳 (農林水産省生産局園芸作物課長)

(本会) 吉田会長、小栗副会長ほか

結果の公表：会誌「農業」 令和2年2月号

6) 果樹部門

期 日：令和元年10月11日

場 所：本会会議室

出席者：(敬称略・順不同)

(受章農家)

藤原 克己 (岡山県赤磐市)

(現地指導者)

生本 和浩 (岡山県備前県民局農林水産事業部東備農業普及指導センター副参事)

(学識経験者)

福元 将志 (座長・(元)農研機構果樹研究所所長)

溝口 和徳 (東京青果(株)参与)

徳田 博美 (名古屋大学大学院生命農学研究科教授)

光廣 政男 (農林水産省生産局園芸作物課課長補佐)

(本会) 吉田会長、小栗副会長ほか

結果の公表：会誌「農業」 令和2年3月号

(4) 表彰農家訪問調査の実施

平成30年度に表彰された農家の技術、経営内容等を広く紹介することを目的に次のとおり実施した。

- 1) 期 日：平成31年4月23日～24日
訪問農家：高橋 守 氏（北海道虻田郡ニセコ町、酪農経営）
訪問者：横内 囿生 氏（元農研機構理事兼畜産草地研究所長、本会農芸委員）
石黒 潔(本会)
結果の公表：会誌「農業」 令和元年8月号
- 2) 期 日：令和元年6月6日～7日
訪問農家：柴田 為英 氏（秋田県湯沢市、稲・大豆作経営）
訪問者：八巻 正 氏（元農研機構理事）
松尾 元(本会)
結果の公表：会誌「農業」 令和元年10月号
- 3) 期 日：令和元年6月10日～11日
訪問農家：山村 喜久夫 氏（宮城県栗原市、水耕野菜・稲作複合経営）
訪問者：小巻 克巳 氏（元東北農業研究センター所長、本会農芸委員）
上原 泰樹(本会)
結果の公表：会誌「農業」 令和元年11月号
- 4) 期 日：令和元年7月29日～30日
訪問農家：米林 利榮 氏（石川県金沢市、野菜（伝統野菜中心）経営）
訪問者：望月 龍也 氏（東京都農林総合研究センター所長、本会農芸委員）
松尾 元(本会)
結果の公表：会誌「農業」 令和元年12月号
- 5) 期 日：令和元年9月24日～25日
訪問農家：中村 弘道 氏（大阪府大阪狭山市、ブドウ専作経営）
訪問者：福元 将志 氏（元農研機構果樹研究所長）
上原 泰樹(本会)
結果の公表：会誌「農業」 令和2年2月号
- 6) 期 日：令和元年10月24日～25日
訪問農家：長尾 安博 氏（兵庫県丹波市、鉢物・花壇用苗専作経営）
訪問者：腰岡 政二 氏（日本大学生物資源科学部教授、元農研機構花き研究所長）
石黒 潔(本会)
結果の公表：会誌「農業」 令和2年5月号

(5) 全国農業青年クラブ連絡協議会（全協）及び全国指導農業士連絡協議会（全指農）関係

- 1) 全国農業青年クラブ連絡協議会の事務局として、通常総会（令和元年6月27日）、日本4Hクラブ会長会議（令和元年6月28日、11月5日～6日、令和2年2月26日）、第59回全国青年農業者会議（令和2年2月26日：本年度中止）の開催等その活動に協力した。
- 2) 全国指導農業士連絡協議会の事務局として、役員会（令和元年6月8日、9月4日、12月6日、令和2年2月5日）、農林水産省との意見交換会（令和元年6月8日、9月4日、12月5日）、第41回指導農業士全国研究会（令和2年1月28日～29日）、総会（令和2年1月29日）の開催等その活動に協力した。

4 奨学金貸与事業

奨学金制度により、東京農業大学学長から推薦のあった農学部学生3名に対し、令和元年6月に奨学金を貸与した。

また、日本農業経営大学校長から推薦のあった学生6名に対し、令和元年12月に奨学金を貸与した。

5 情報普及事業

(1) 農業、農政、技術、経営等の動き、調査研究活動の成果、表彰農家の業績等を内容とする会誌「農業」を、毎月約3,000部刊行し会員等に配布した。

(2) 会誌「農業」の内容の充実を図るため、平成31年4月10日及び令和元年10月4日、本会会議室において編集委員会を開催し、既刊の「農業」の評価及び記事の内容・構成等について検討を行った。

編集委員（敬称略・50音順）

小川 奎 （公財）日本植物調節剤研究協会顧問

狩谷 昭男 （一財）いも類振興会顧問

松澤 厚 元日本農業新聞客員論説委員

本会 吉田会長、小栗副会長、松尾事務局長、上原編集部長ほか

6 農事奨励事業その他

(1) 支会活動関係

1) 北海道支会

平成31年4月24日、北海道支会の総会が札幌市で開催され、本会より小栗副会長が出席し、挨拶と最近の活動状況の報告を行った。

2) 栃木支会

令和2年1月30日、栃木支会の総会が宇都宮市で開催され、本会より小栗副会長が出席し、挨拶と最近の活動状況の報告を行った。

3) 山形支会

令和2年2月5日、山形支会の総会が東根市で開催され、本会より吉田会長が出席し、挨拶と最近の活動状況の報告を行った。

4) 秋田支会

令和2年2月5日、秋田支会の総会が秋田市で開催され、本会より松尾事務局長が出席し、挨拶と最近の活動状況の報告を行った。

5) 岩手支会

令和2年2月6日、岩手支会の総会が盛岡市で開催され、本会より吉田会長が出席し、挨拶と最近の活動状況の報告を行った。

6) 新潟支会

令和2年3月18日、新潟支会の総会が新潟市で開催され小栗副会長が出席の予定であったが、新型コロナウイルス感染症防止対策上開催が延期されている。

(2) 一般財団法人農林水産奨励会関係

1) 理事・評議員会

① 令和元年6月5日、令和元年度第1回通常理事会が開催され、平成30年度事業報告及び決算承認の件、公益目的支出計画実施報告書承認の件、令和元年度定時評議員会招集決議の件、職務執行状況報告の件等が審議され、原案どおり承認議決された。

② 令和元年6月20日、令和元年度定時評議員会が開催され平成30年度事業報告及び決算承認等の件、公益目的支出計画実施報告書報告の件、平成31年度事業計画及び収支予算報告の件、評議員選任の件、任期満了に伴う役員選任の件等が審議され、原案どおり承認議決された。

③ 令和元年6月20日、令和元年度第1回臨時理事会が開催され任期満了に伴う役員選定の件、参与委嘱の件等が審議され、原案どおり承認議決された。

④ 令和2年3月23日、令和元年度第2回通常理事会が開催され、令和2年度事業計画及び収支予算承認の件等が審議された。

2) 常務役員会

定例的に開催し、三会堂ビルの管理運営等重要事項が審議された。

(3) 東京農業大学関係

1) 東京農業大学の2019年度入学式が、平成31年4月2日同大学世田谷キャンパス桜丘アリーナ（東京都世田谷区）において挙行され、本会から吉田会長が出席して祝意を表した。また、生物産業学部入学式が4月4日オホーツクキャンパス体育館（北海道網走市）で挙行され、吉田会長から祝意を表した。

- 2) 昨年から引き続き、「食と農」の博物館の協力を得て、三会堂ビルロビーにおいて、「足踏み脱穀機」（昭和44年蒐集）を展示している。
- 3) 東京農業大学の卒業論文等成績優秀な学生18名（オホーツクキャンパス4名、世田谷キャンパス11名、厚木キャンパス3名）に対して大日本農会賞を授与した。

(4) 伊勢神宮関係

平成31年4月4日、伊勢神宮神田祭場において執り行われた「下種祭」に石黒調査研究部長が参列した。また、令和元年9月7日、同祭場で執り行われた「抜穂祭」に小栗副会長が参列した。

(5) 慶弔

令和元年度春の叙勲において、本会農芸委員古在豊樹氏が瑞宝重光章、同じく本会農芸委員西川孝一氏と陽捷行氏が瑞宝中綬章の栄に浴されたので、本会において祝意を表した。

7 会務の報告

(1) 定時総会

令和元年5月28日14時から三会堂ビル石垣記念ホールにおいて、第102回総会（令和元年度定時総会）を開催し、次の議案を提案・報告し、審議の後それぞれ承認議決された。

- 第1号議案 平成30年度事業報告及び決算に関する件
- 第2号議案 2019年度事業計画及び収支予算に関する件
- 第3号議案 役員を選任に関する件
- 第4号議案 その他（報告）
 - ・会員の状況

(2) 理事会

1) 第1回理事会

平成31年4月25日11時から本会会議室において平成31年度第1回理事会を開催し、次の議案を審議しそれぞれ承認議決された。

- 第1号議案 平成30年度事業報告及び収支決算(案)に関する件
(監事監査報告)
- 第2号議案 役員を選任に関する件
- 第3号議案 大日本農会正会員の入会の承認に関する件
- 第4号議案 改元に伴う大日本農会規則の制定に関する件
- 第5号議案 その他

2) 第2回理事会

令和元年5月28日13時30分から本会会議室において令和元年度第2回理事会を開催し、次の議案を審議しそれぞれ承認議決された。

- 第1号議案 基本財産の繰入に関する件

第2号議案 第102回総会（令和元年度定時総会）提出議案に関する件

3) 第3回理事会

令和元年10月9日11時から本会会議室において令和元年度第3回理事会を開催し、次の議案を審議しそれぞれ承認議決された。

第1号議案 令和元年度農事功績表彰受章者の決定に関する件

第2号議案 令和元年度上半期事業報告及び収支予算の執行状況に関する件

第3号議案 基本財産の繰入に関する件

4) 第4回理事会

令和2年3月6日11時から三会堂ビル2階A会議室において令和元年度第4回理事会を開催し、次の議案を審議しそれぞれ承認議決された。

第1号議案 令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件

第2号議案 令和元年度下半期事業報告及び収支予算の執行状況に関する件

第3号議案 会長の報酬に関する件

第4号議案 大日本農会正会員の入会の承認に関する件

第5号議案 第103回総会（令和2年度定時総会）の開催等に関する件

第6号議案 その他

(3) 事業監査

平成31年4月16日11時から本会会議室において、平成30年度事業報告及び収支決算等について、木下良智監事及び櫻井勉監事による監事監査が実施され、適正と認められた。

(4) 顧問会議

令和元年11月6日11時から本会会議室において、顧問会議を開催し、令和元年度（第103回）農事功績者表彰者の決定等について説明し、意見交換等を行った。

(5) 定例会

毎週定時に定例会を開催し、懸案事項等の検討を行った。

事業報告の附属明細書

該当無し